FOR.A
INNOVATIONS IN VIDEO
and AUDIO TECHNOLOGY

取扱説明書

MBP-100CK

クロマキーヤ プロセッサ

Chroma Keyer Processor

S

2nd Edition – Rev.2

株式会社　朋栄

改訂履歴

Edit.	Rev.	年月日	改訂内容	改訂箇所
1	-	2009/06/09	初版	
2		2009/08/20	ブロック図追加 1080p/PsF フォーマット追加 ビデオ出力の説明変更	P1 P9, 11 P2, 8
2	1	2010/03/05	BIOS 再設定説明追加 使用温度、湿度仕様変更	付録 P11
2	2	2015/07/27	保証　追加 コネクタ変更 (VGA から DVI-I へ) 「BIOS の再設定」変更	 開梱および確認 1-3, 2-2, 3, 4 章 付録

使用上の注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。

[電源電圧・電源コード]

禁止	指定電圧以外の電源電圧は使用しないでください。
プラグを抜く	電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つく恐れがあります。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
注意	電源コードに重いものをのせたり落としたりしてコードを傷つけないでください。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
注意	電源コードの被ふくが溶けたり、コードに傷がついたりしていないか、定期的にチェックしてください。
注意	電源コードのプラグおよびコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。

[接地]

必ず行う	感電を避けるためアースをとってください。
禁止	アースは絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因になることがあります。

[内部の設定変更が必要なとき]

必ず行う	電源を切ってから、設定変更の操作を行ってください。電源を入れた状態で設定が必要な場合は、サービス技術者が行ってください。
触らない	過熱部分には触らないでください。やけどをする恐れがあります。
注意	パネルやカバーを取り外したままで保管や使用をしないでください。内部設定終了後は必ずパネルやカバーを元に戻してご使用ください。

[使用環境・使用方法]

禁止	高温多湿の場所、塵埃の多い場所や振動のある場所に設置しないでください。使用条件以外の環境でのご使用は、動作の異常、火災や感電の原因になることがあります。
禁止	内部に水や異物を入れないでください。水や異物が入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、異物が入った場合は、すぐ電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて内部から取り出すか、販売代理店、サービスセンターへご相談ください。
禁止	筐体の中には高圧部分があり、感電の恐れがあります。通常はカバーを外したり分解したりしないでください。
禁止	通風孔を塞がないでください。この機器を正常に動作させるために、適量の空冷が必要です。機器の前面と背面は、他の物から 5cm 以上離してください。

[運搬・移動]

注意	運搬時などに外部から強い衝撃を与えないように注意してください。機器が故障することがあります。機器を他の場所へ移動するときは、専用の梱包材をご使用ください。

[異常時の処置]

必ず行う	電源が入らない、異臭がする、異常な音が聞こえるときは、内部に異常が発生している恐れがあります。すぐに電源を切り、販売代理店、サービスセンターまでご連絡ください。

[ラック取付金具、アース端子、ゴム足の取り付け]

必ず行う	ラック取付金具、アース端子、ゴム足を取り付ける場合は、必ず付属の専用部品および付属のネジを使用し、それ以外のものは使用しないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。また、ゴム足付きの製品の場合は、ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。

[消耗部品]

注意	消耗部品が使用されている機器では、定期的に消耗部品を交換してください。消耗部品・交換期間の詳しい内容については、取扱説明書の最後にある仕様でご確認ください。なお、消耗部品は使用環境で寿命が大きく変わりますので、早めの交換をお願いいたします。消耗部品の交換については、販売代理店へお問い合わせください。

保証

弊社製品のご購入において製品の修理・保守等について御連絡申し上げます。

1) 通常のお取り扱いにおいて発生した製品故障に関し、購入後 1 年間無償にて修理の対応を致します。

2) お取り扱い上の不注意、天災等による損傷の場合は実費を頂きます。

3) ご自分で修理・調査・改造されたものは、保証いたしかねる場合があります。《また、特別な使用環境でご使用になられる場合、保証期間中といえども、別途有償保守契約の締結をお願いする場合があります。》

4) 修理はセンドバック対応となります。

5) 修理期間は、弊社にて故障及び修理内容確認後の回答となります。

6) 修理期間中の代替機ご提供の保証はいたしかねる場合があります。尚、代替機ご提供の場合は代替機使用料金が必要となります。

7) 製品の保守に関しましては、製品出荷後原則 7 年間とさせて頂いています。但し、出荷後 7 年間を過ぎましても、保守部品を保有している場合、もしくは部品入手が可能な場合は修理をお受け致しています。

8) 製品の故障に起因する派生的、付随的および間接的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等については、全てご容赦頂きます。

9) 他社製品の修理・保守等については、別段の指定がない限り、他社の保証・保守条件によります。

10) 本保証は日本国内においてのみ有効です。

11) 詳細につきましては、その都度修理部門にお問合せ頂きますようお願い申し上げます。

※ 特別な修理対応を御希望の場合は、別途御相談させて頂きます。

開梱および確認

このたびは、MBP-100CK クロマキーヤ・プロセッサをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

◆ **構成表**

品　名	数 量	備　　考
MBP-100CK	1	
電源ケーブル	1 セット	AC ケーブル、AC ケーブル抜け止め金具
ラック取付金具	1 セット	
ゴム足	1 セット	
DVI - VGA 変換コネクタ	1	
取扱説明書	2	本書および GUI 操作マニュアル

注意	MBP-100CK の電源切断後再び電源を入れるときは、**必ず 10 秒以上. 待ってから**電源を入れてください。

確認

もし、品物に損傷があった場合は、直ちに運送業者にご連絡ください。品物に不足があった場合や、品物が間違っている場合は、販売代理店までご連絡ください。

ラック取付

本製品は EIA 標準規格です。ラックに取り付ける場合は、専用取付金具を使って取り付けてください。

目次

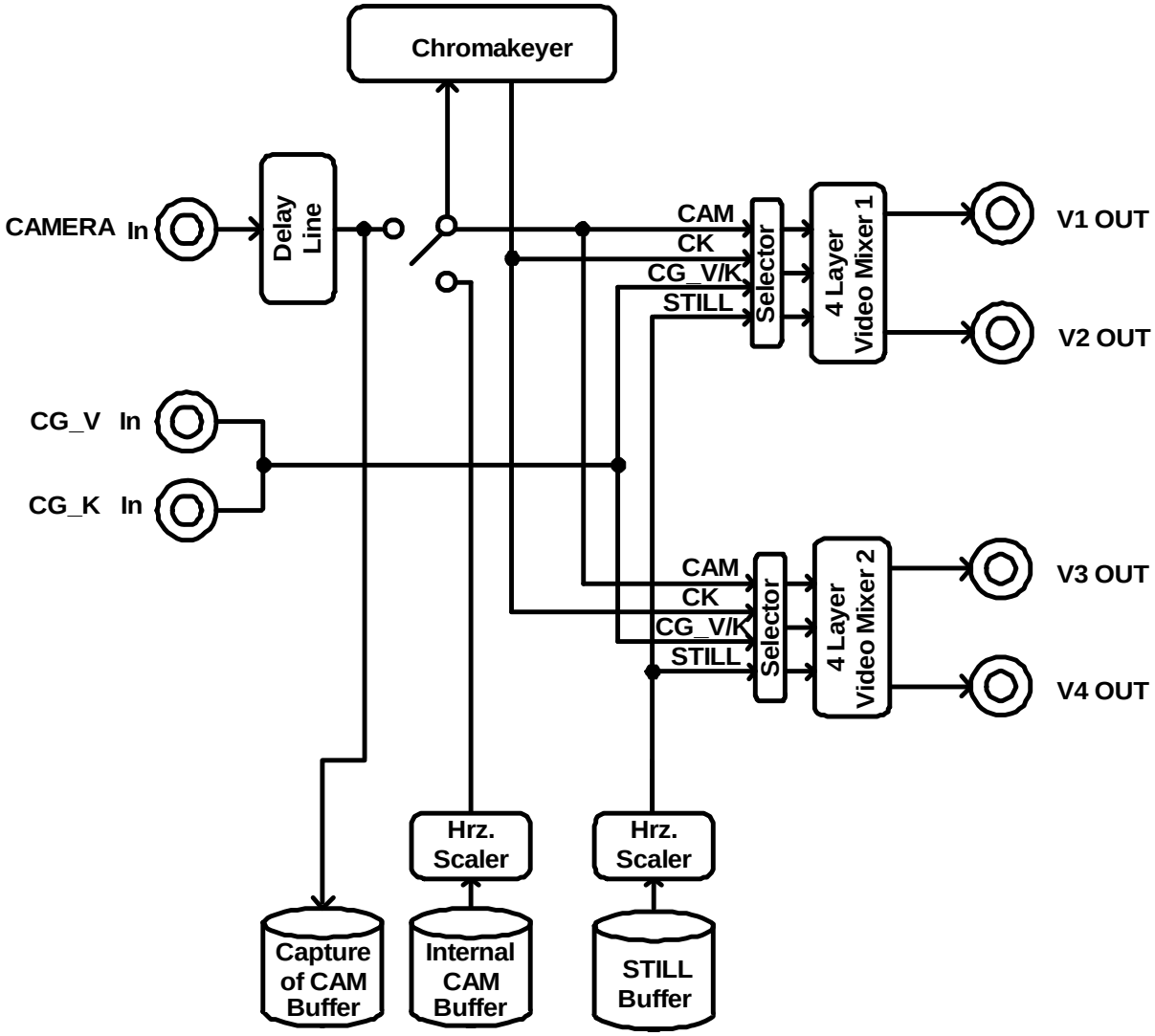
1. 概要および特長 9
1-1. 概要 9
1-2. 特長 10
1-3. 準備するもの 10
2. 各部の名称と機能 11
2-1. 前面パネル 11
2-2. 背面パネル 12
2-3. シリアルインターフェース 13
2-3-1. REMOTE 13
2-3-2. RS-232C 13
2-4. パラレルインターフェース 14
2-4-1. GPI / ALARM 14
3. 周辺機器との接続 16
3-1. システム調整 17
4. 仕様および外観図 19
4-1. 仕様 19
4-2. 外観図 20
付録. BIOS の再設定 21
1. BIOS SETUP メニューを開く 21
2. 設定手順 23

1. 概要および特長

1-1. 概要

MBP-100CK クロマキーヤ・プロセッサはマルチフォーマット対応のクロマキー装置です。操作性とクオリティを追求した朋栄独自アルゴリズムにより、高品質なクロマキー合成を実現します。

◆ ブロック図



1-2. 特長

- 4:4:4:4 内部処理
- HD/SD-SDI　3 入力、8 出力
- 独自アルゴリズムによる高性能なオートクロマキー機能
- エッジカラーリプレイス機能
- ちらつきノイズを抑制するフィルタ機能
- DSK 機能
- スチルストア機能
- MBP-12RU: リモートコントロールユニット（オプション）
- 静止画キャプチャしたカメラ映像に対するクロマキー処理可能
- クロマキー処理後のカラー調整
- カメラ映像の静止画キャプチャ

1-3. 準備するもの

構築するシステムに合わせて以下のものを準備してください。

◆ **VGA モニタ**

映像モニタおよび操作画面に VGA モニタと接続ケーブルが必要です。
VGA モニター―(VGA ケーブル+ DVI-VGA 変換コネクタ)―MBP-100CK 背面の DVI-I コネクタ

◆ **マウス**

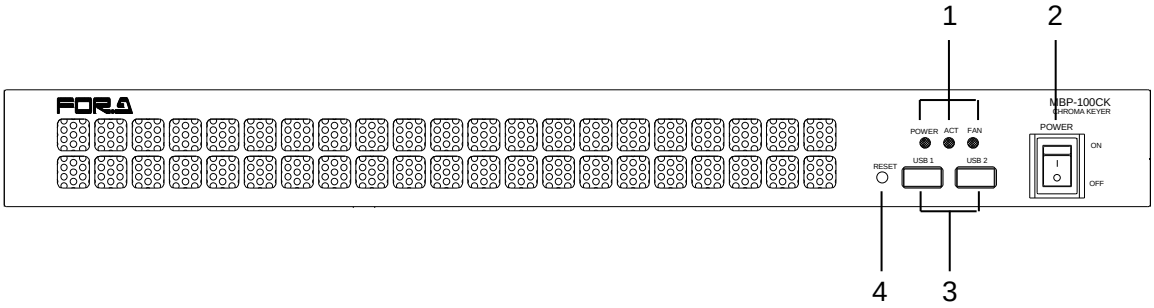
VGA モニタ使用時は、操作用にマウスが必要です。マウスは MBP-100CK 前面または背面の USB1-4 ポートのいずれかに接続してください。

◆ **キーボード**

文字入力が多い場合は、キーボードがあると便利です。キーボードは MBP-100CK 前面または背面の USB1-4 ポートのいずれかに接続してください。（マウス操作でも、Keypad ウィンドウを使って文字入力ができます。）

2. 各部の名称と機能

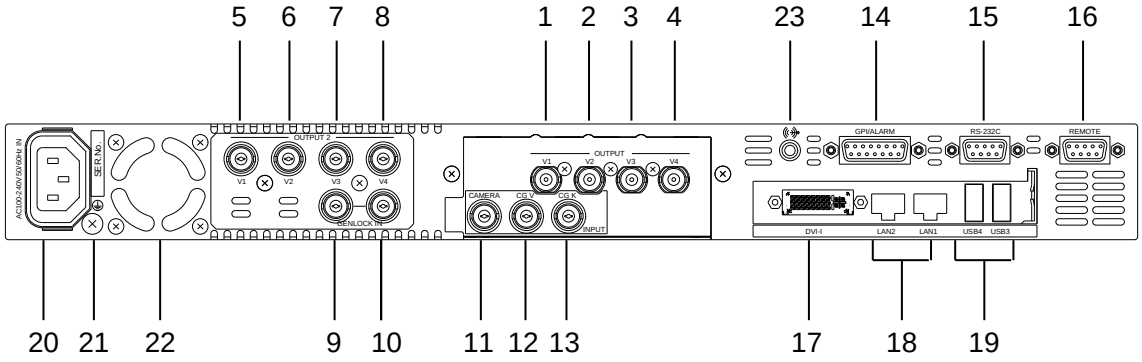
2-1. 前面パネル



番号	名称	説明		
1	ステータス ランプ	POWER	緑点灯	電源が正常に動作しています。
			消灯	電源が入力されていません。
		ACT		未使用。
		FAN	消灯	冷却ファンはすべて正常に動作しています。
			赤点灯	冷却ファンのひとつにあるいはそれ以上に異常があります。電源を切り、必要な場合はファンを交換してください。
2	POWER スイッチ	電源スイッチです。「｜」側に倒すと電源が入ります。 電源を入れると、ランプが緑に点灯します。電源投入後 POWER ランプが点灯するまで約 5 秒かかります。		
3	USB1 USB2	USB ポートです。(USB2.0 対応)		
4	RESET	POWER スイッチを ON にした後､5 秒たっても MBP-100CK の POWER ランプが緑点灯しない場合に、RESET スイッチを押してください。MBP-100CK が起動します。（通常は使用しません。）		

注意	FAN ランプが赤点灯しているときは、冷却ファンに異常があります。機器の電源を落とし、販売代理店へご連絡ください。

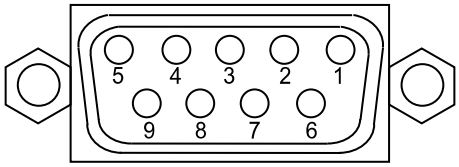
2-2. 背面パネル



番号	名称		説明	参照
1	OUTPUT	V1	Mixer1およびSelectorにより設定されたVideo/Key出力端子です。V1、V2端子から異なる信号を出力できます。（電源OFF時、V1出力はINPUT CAMERAのバイパススルーとなります。）	3
2		V2		
3		V3	Mixer2およびSelectorにより設定されたVideo/Key出力端子です。V3、V4端子から異なる信号を出力できます。	
4		V4		
5	OUTPUT2	V1	V1の分配出力端子です。（ただし、バイパススルーはありません。）	3
6		V2	V2の分配出力端子です。	
7		V3	V3の分配出力端子です。	
8		V4	V4の分配出力端子です。	
9	GENLOCK IN		ゲンロック信号の入力コネクタです。いずれか一方のコネクタへ基準となる同期信号(ブラックバースト信号または3値シンク信号）を入力します。もう一方のコネクタはループスルーコネクタです。ループスルーさせないときは、75Ωで終端してください。	3-1
10				
11	INPUT	CAMERA	Camera用の入力端子です。	3
12		CG V	外部CG用のVideo入力端子です。	
13		CG K	外部CG用のKey入力端子です。	
14	GPI / ALARM		電源／ファンアラーム出力およびGPI入出力に使用します。 D-sub 15ピン（メス）コネクタ	2-4-1
15	RS-232C		制御用のシリアルポートです。 D-sub 9ピン（オス）コネクタ	2-3-2
16	REMOTE		制御用のシリアル（RS-422）ポートです。 D-sub 9ピン（メス）コネクタ	2-3-1
17	DVI-I		モニタ出力です。	3
18	LAN1		100BASE-TX (1000BASE-T対応予定) イーサネットポートです。MBP-12RU（オプション）との接続に使用します。 RJ-45コネクタ	3
	LAN2		未使用。	
19	USB3 USB4		USBポートです。(USB3.0対応)	3
20	AC IN		AC電源を入力してください。（AC100V-240V 50/60Hz）	
21	アース端子		安全に使用して頂くために、アースを接地して使用してください。	
22	冷却ファン		基板冷却用ファンの吹き出し口です。通風孔を塞がないように設置してください。	
23	オーディオ出力		ステレオヘッドフォンジャック(コンテンツの音声は出力できません。)	

2-3. シリアルインターフェース

2-3-1. REMOTE

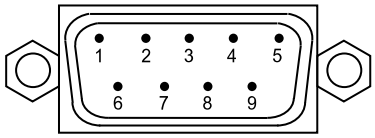


D-sub 9ピン　メス　インチネジタイプ

◆　**端子配列表**

ピン番号	信号名	入出力	信号内容
1	FG	－	フレームグランド
2	TX-	出力	送信データ（－）
3	RX+	入力	受信データ（＋）
4	SG	－	信号グランド
5	NC	－	未使用
6	SG	－	信号グランド
7	TX+	出力	送信データ（＋）
8	RX-	入力	受信データ（－）
9	FG	－	フレームグランド

2-3-2. RS-232C



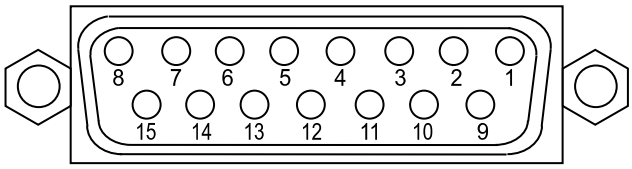
D-sub 9ピン　オス　インチネジタイプ

◆　**端子配列表**

ピン番号	信号名	入出力	信号内容
1	DCD	入力	キャリア検出
2	RXD	入力	受信データ
3	TXD	出力	送信データ
4	DTR	出力	データ端末レディ
5	GND	－	信号グランド
6	DSR	入力	データセットレディ
7	RTS	出力	送信要求
8	CTS	入力	送信可
9	RI	入力	被呼表示

2-4. パラレルインターフェース

2-4-1. GPI / ALARM



D-sub 15 ピン　メス　インチネジタイプ

◆　コネクタ端子配列表

ピン番号	信号名	入出力	信号内容
1	GND	－	グランド
2	POW ALARM	出力	電源アラーム(*1)
3	FAN ALARM	出力	ファンアラーム(*1)
4	NC	－	未使用
5	GPI IN3	入力	GPI 入力(*2)
6	GPI IN2	入力	GPI 入力(*2)
7	GPI IN1	入力	GPI 入力(*2)
8	+5VOUT	出力	+5V 出力
9	COMMON	－	電源・ファンアラームコモン(*1)
10	NC	－	未使用
11	NC	－	未使用
12	GPI IN4	入力	GPI 入力(*2)
13	GPI OUT2	出力	GPI 出力(*3)
14	GPI OUT1	出力	GPI 出力(*3)
15	GND	－	グランド

※ +5V 出力の定格電流は Max 200mA です。

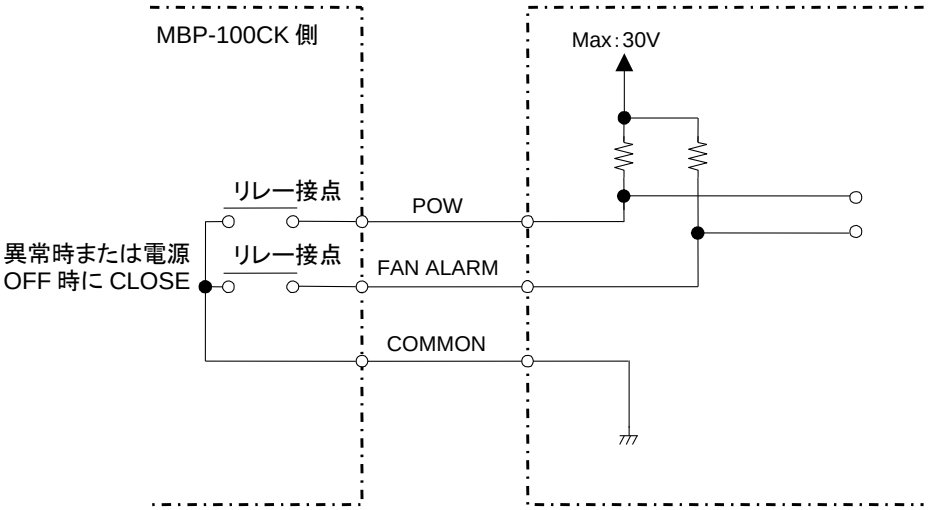
(*1) 下記「アラーム出力回路」参照
(*2) 次ページ「GPI 入力回路」参照
(*3) 次ページ「GPI 出力回路」参照

アラーム出力回路
アラーム出力はリレー接点方式です。次のように動作します。

正常時：コモンピンとオープン
異常時および電源 OFF 時：コモンピンとクローズ

ピン 9 は電源アラーム・ファンアラーム共通のコモンピンです。
リレー出力の各端子の最大定格は、DC30V、0.5A です。

アラーム出力

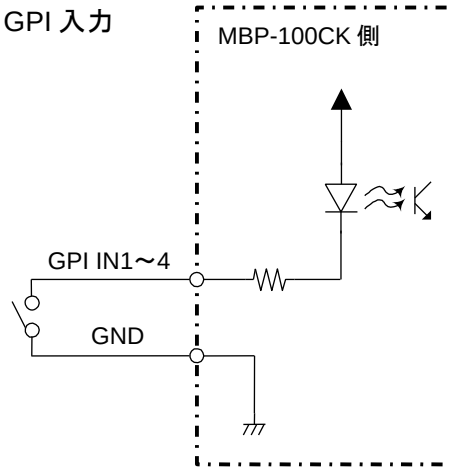


◆ **GPI 入力回路**

GPI 入力は次のように動作します。

グランドピンとショート： 機能 ON
グランドピンとオープン： 機能 OFF

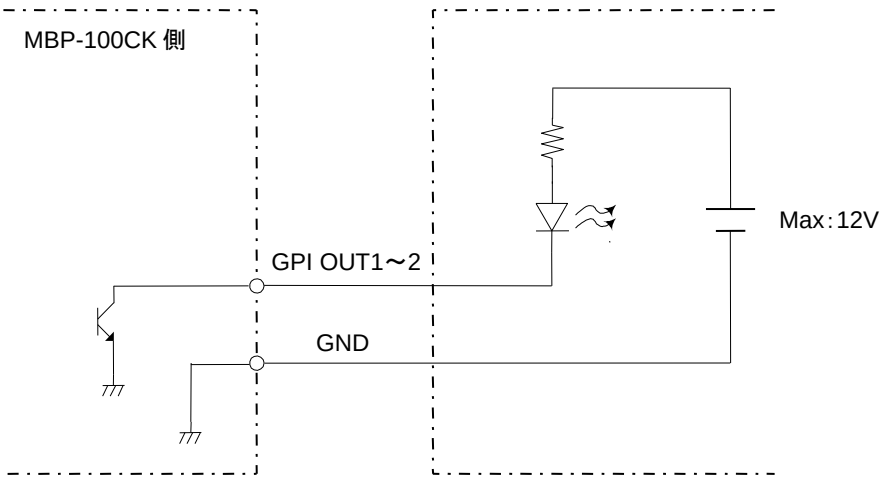
GPI 入力



◆ **GPI 出力回路**

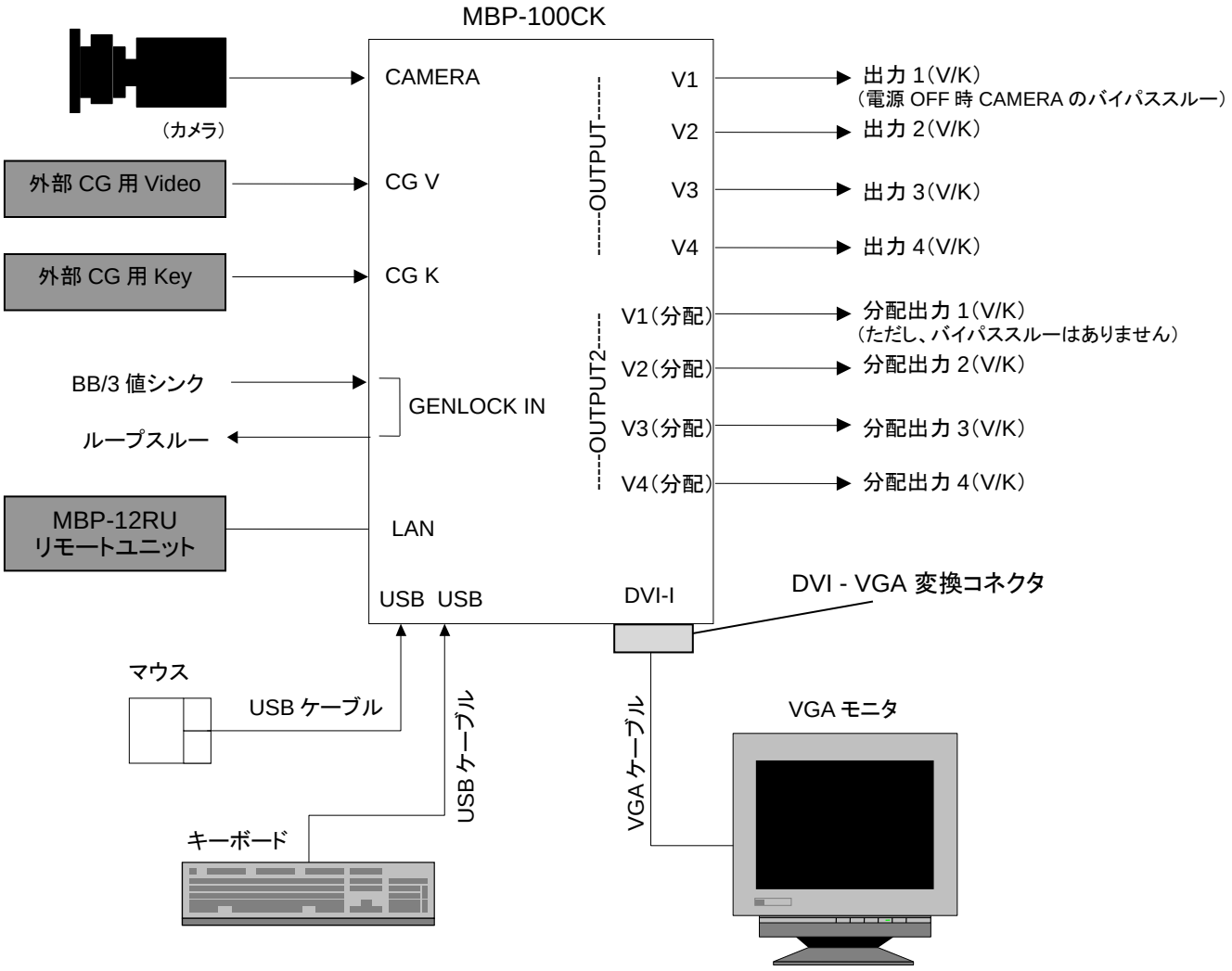
GPI 出力はオープンコレクタ出力です。
外部電源を使用する場合は、12V 以下でご使用ください。
また、GPI OUT の各ピンとも、20mA 以下でご使用ください。

GPI 出力



3. 周辺機器との接続

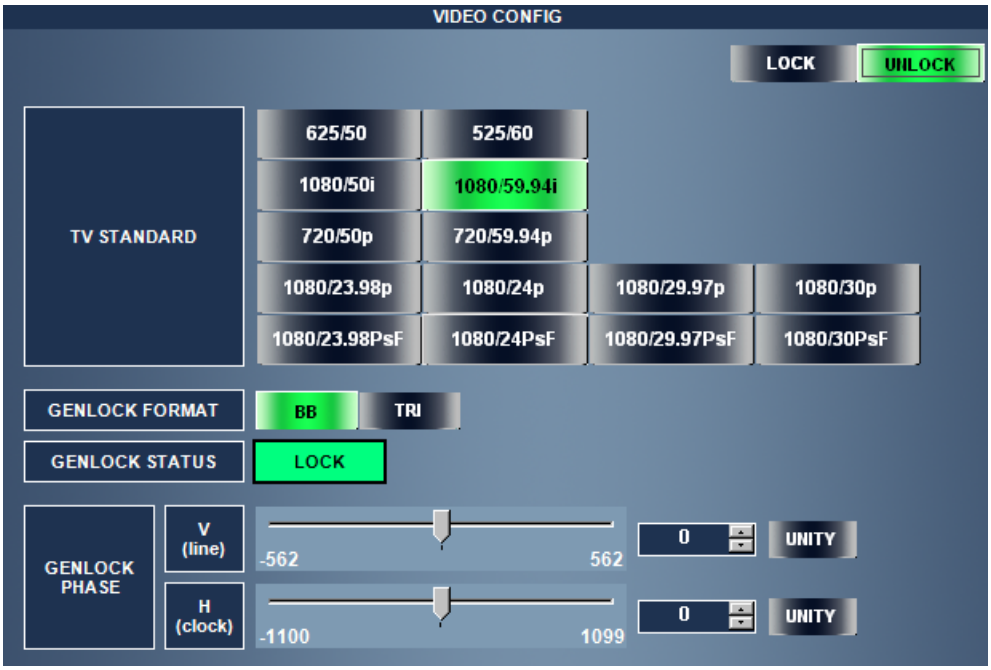
下図のシステム例を参照して、システムの機器を接続してください。



注意	OUTPUT2（V1-V4）は OUTPUT(V1-V4) の分配出力です。OUTPUT2 の V1-V4 へは、OUTPUT の V1-V4 と同じ映像がそれぞれ送られます。キーボード／マウスは USB 接続となります。PS/2 をご使用の場合は USB-PS2 コンバータ等をご使用ください。

3-1. システム調整

コントロールソフト MBP-12GUI により、SDI 出力信号のゲンロック位相調整が可能です。



◆ **H Phase**

スライダの移動または数値入力により、水平位相を調整します。

テレビジョン方式	調整範囲	ステップ	初期値
1080/59.94i	-1100～+1099 (-14.83 μ s～+14.81 μ s)	1 (13.48ns)	0
1080/50i	-1320～+1319 (-17.79 μ s～+17.78 μ s)	1 (13.47ns)	0
1080/23.98p 1080/23.98PsF	-1375～+1374 (-18.53 μ s～+18.52 μ s)	1 (13.48ns)	0
1080/24p 1080/24PsF	-1375～+1374 (-18.52 μ s～+18.50 μ s)	1 (13.47ns)	0
1080/29.97p 1080/29.97PsF	-1100～+1099 (-14.83 μ s～+14.81 μ s)	1 (13.48ns)	0
1080/30p 1080/30PsF	-1100～+1099 (-14.81 μ s～+14.80 μ s)	1 (13.47ns)	0
720/59.94p	-825～+824 (-11.12 μ s～+11.11 μ s)	1 (13.48ns)	0
720/50p	-990～+989 (-13.34 μ s～+13.32 μ s)	1 (13.47ns)	0
525/60	-858～+857 (-31.78 μ s～+31.74 μ s)	1 (37.04ns)	0
625/50	-864～+863 (-32.00 μ s～+31.96 μ s)	1 (37.04ns)	0

◆ **V Phase**

スライダの移動または数値入力により、垂直位相を調整します。

テレビジョン方式	調整範囲	ステップ	初期値
1080/59.94i	-562 ライン～+562 ライン （-16.67ms～+16.67ms）	1 ライン （29.66 μ s）	0
1080/50i	-562 ライン～+562 ライン （-20.00ms～+20.00ms）	1 ライン （35.56 μ s）	0
1080/23.98p 1080/23.98PsF	-562 ライン～+562 ライン （-20.83ms～+20.83ms）	1 ライン （37.07 μ s）	0
1080/24p 1080/24PsF	-562 ライン～+562 ライン （-20.81ms～+20.81ms）	1 ライン （37.04 μ s）	0
1080/29.97p 1080/29.97PsF	-562 ライン～+562 ライン （-16.67ms～+16.67ms）	1 ライン （29.66 μ s）	0
1080/30p 1080/30PsF	-562 ライン～+562 ライン （-16.65ms～+16.65ms）	1 ライン （29.63 μ s）	0
720/59.94p	-375 ライン～+374 ライン （-8.34ms～+8.32ms）	1 ライン （22.24 μ s）	0
720/50p	-375 ライン～+374 ライン （-10.00ms～+9.97ms）	1 ライン （26.67 μ s）	0
525/60	-262 ライン～+262 ライン （-16.68ms～+16.68ms）	1 ライン （63.56 μ s）	0
625/50	-312 ライン～+312 ライン （-20.00ms～+20.00ms）	1 ライン （64.00 μ s）	0

注意

MBP-100CK 取扱説明書「3-1. システム調整」および MBP-12GUI 取扱説明書「3-2-(4). GENLOCK PHASE」で説明されているゲンロック位相調整を行った後、次回システム起動時に設定値を反映させるためには、起動時に適用されるイベントメモリに設定を保存する必要があります。

ゲンロック位相調整後は必ず、MBP-12GUI 取扱説明書「3-10-1. イベントメモリ保存」を参照して、イベント番号 1「Boot Setting」に設定を保存してください。保存する際、ゲンロック位相以外の設定（出力信号設定、ミキサ設定、オーディオ設定）は初期状態から変更せずに保存してください。

4. 仕様および外観図

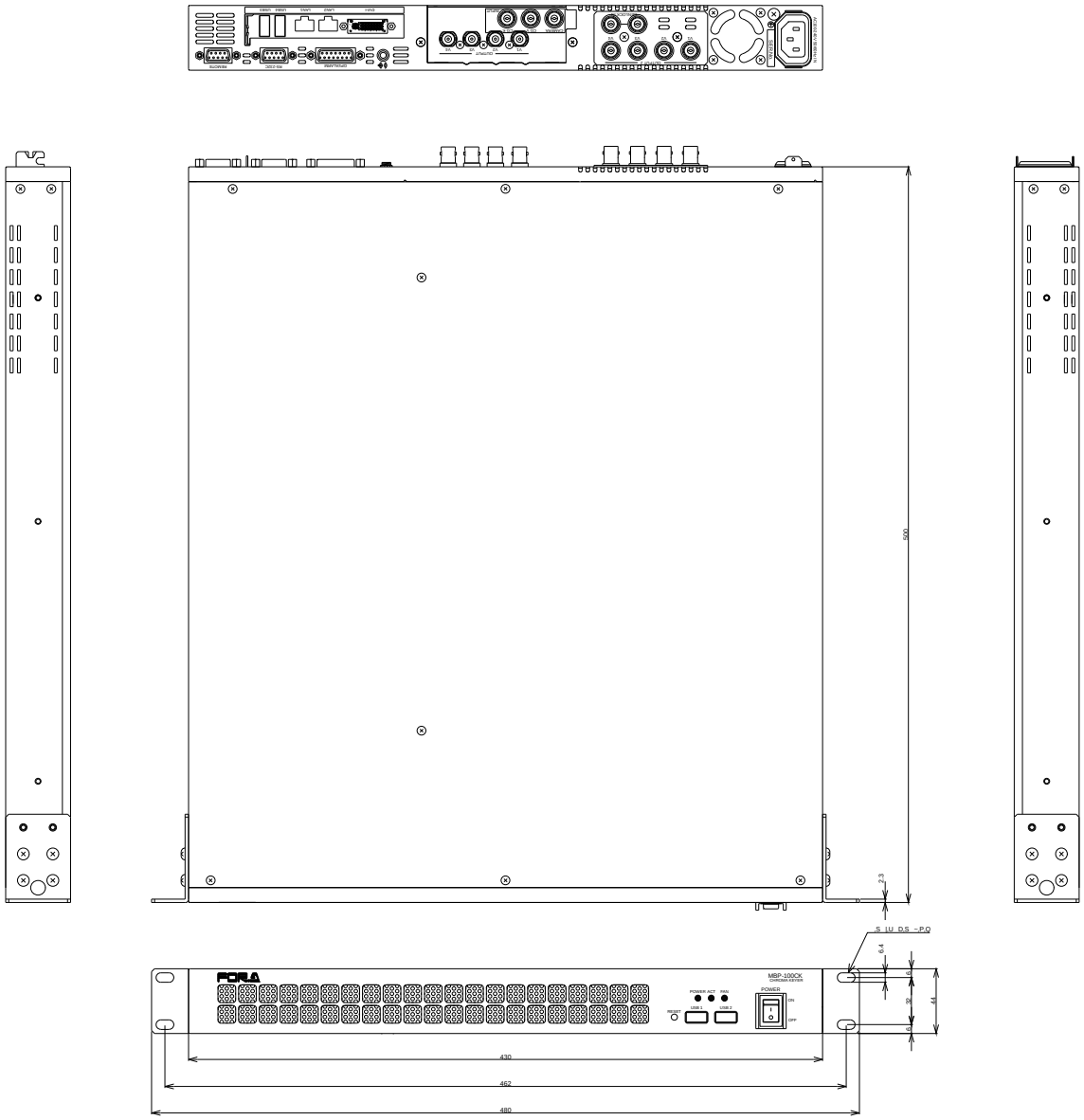
4-1. 仕様

ビデオフォーマット	HD-SDI	1080/59.94i, 1080/50i, 720/59.94p, 720/50p
	(オプション)	1080/23.98p, 1080/24p, 1080/29.97p, 1080/30p, 1080/23.98PsF, 1080/24PsF, 1080/29.97PsF, 1080/30PsF
	SD-SDI	525/60, 625/50
ビデオ入力	HD-SDI 1.5Gbps 75Ω BNC×3 または SD-SDI 270Mbps 75Ω BNC×3	
ゲンロック入力	BB： 0.429V(p-p) (NTSC)／0.45V(p-p) (PAL) または 3 値シンク：0.6V(p-p) ループスルーまたは 75Ω終端、BNC×1	
ビデオ出力		
OUTPUT (V1-V4)	HD-SDI 1.5Gbps 75Ω BNC×4 または SD-SDI 270Mbps 75Ω BNC×4 （電源 OFF 時、V1 出力は INPUT CAMERA のバイパススルーとなります。）	
OUTPUT2 (V1-V4) (OUTPUT 分配出力)	HD-SDI 1.5Gbps 75Ω BNC×4 または SD-SDI 270Mbps 75Ω BNC×4 （ただし、V1 出力のバイパススルーはありません。）	
ビデオ入力引き込み範囲	ゲンロック位相に対して±0.5H	
入出力ディレイ		
CAMERA	1 フレーム（ゲンロック位相と同相で入力時）	
CGV CGK	1 ライン（ゲンロック位相と同相で入力時）	
信号処理方式	4:4:4:4 コンポーネント	
クロマキーヤ	朋栄独自アルゴリズム採用クロマキーヤ	
DSK	ミックス方法：Normal/Add 選択可能 4 レイヤ	
カメラディレイ調整	0H – 7 フレーム ※H 位相を 2 ピクセル単位 (HD: 約 27ns、SD: 約 74ns) で調整可能	
インターフェース		
REMOTE	D-sub 9 ピン (メス) ×1	
RS232C	D-sub 9 ピン (オス) ×1	
USB	USB2.0 シリーズ A コネクタ×2 (前面) USB3.0 シリーズ A コネクタ×2 (背面)	
LAN1	100BASE-TX (1000BASE-T 対応予定)、RJ-45× 1	
LAN2	未使用	
DVI-I	DVI-I コネクタ ×1 (1280 x 1024)	
GPI/ALARM	D-sub 15 ピン (メス) ×1 ALARM：電源、ファンアラーム（接点出力） GPI： 4 入力／2 出力（接点入力、オープンコレクタ出力）	
オーディオ出力	3.5 mm ステレオミニジャック ×1	
使用温度	0°C - 40°C	
湿度	20% - 80% (結露のないこと)	
電源	AC100V - 240V ±10%, 50/60Hz	
消費電力	AC100V 時：110VA(115W) AC200V 時：132VA(118W)	
外形寸法	430 (W) x 44 (H) x 500 (D) mm, EIA 1RU	
質量	9 kg	
消耗部品 (常温 24 時間使用時)	冷却ファン: 交換時期 3 年 電源: 交換時期 5 年 バッテリ: 交換時期 5 年※	

※ 電源未接続の状態が長期間続く場合には 1 年を目安にバッテリの定期交換を実施してください。

4-2. 外観図

（寸法単位 mm）



付録. BIOS の再設定

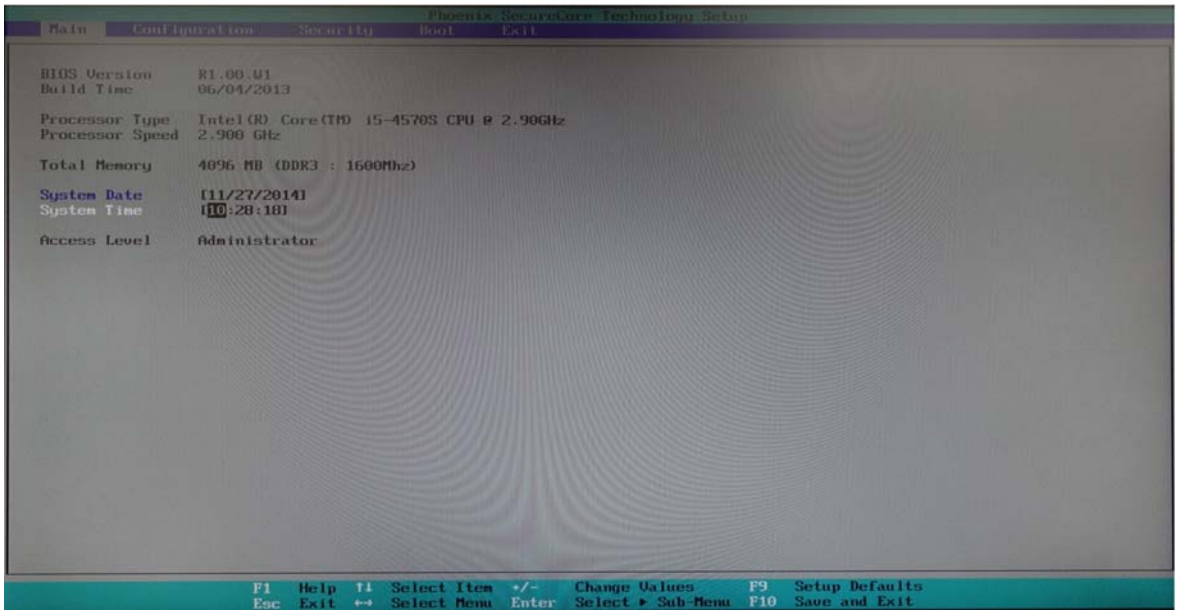
BIOS バックアップ用の電池が切れ、正常起動しなくなった場合、販売代理店へ電池交換の依頼を行ってください。電池交換は専門的知識を必要とするため、必ず販売代理店へご依頼ください。なお、急を要する場合は、一時的に復旧させることが可能です。下記の手順に従って BIOS の再設定を行ってください。

1. BIOS SETUP メニューを開く

1. 機器背面の DVI-I 端子に PC モニタ、USB 端子にキーボードとマウスを接続し、電源を投入してください。

2. PC が立ち上がると下図の画面が表示されますので、F2 キーを押してください。

3. ［Phoenix SecureCore Technology Setup］が表示されます。



初期設定を読み込んだ後に、画面上で下表の通りになるように設定してください。
詳しい設定の手順は次章を参照してください。

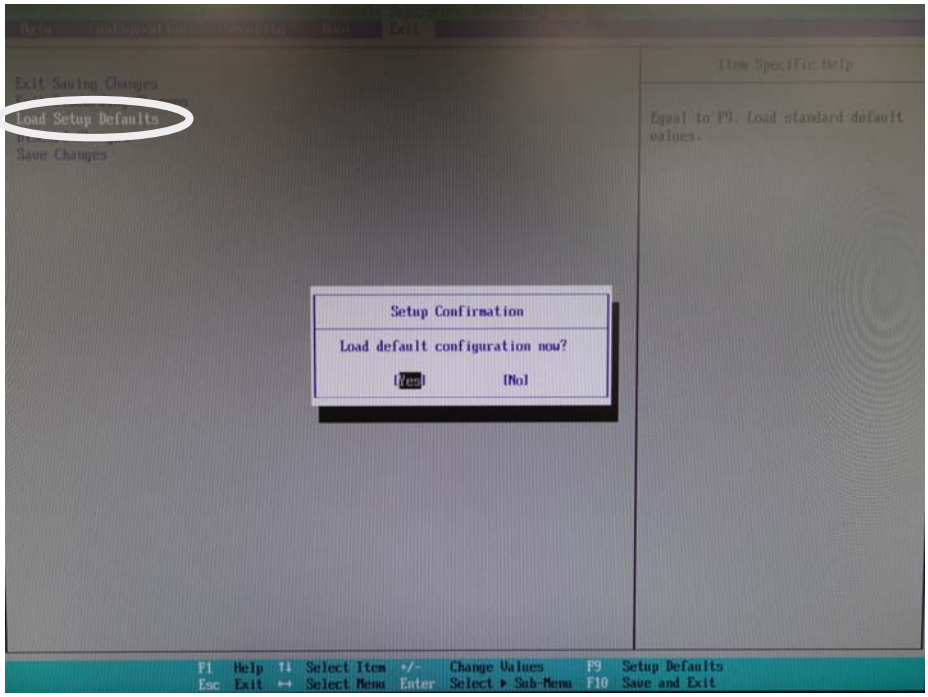
項番	Top Menu ①	Top Menu ②	Submenu ①	Submenu ②	設定
(1)	Main	System Date	-	-	現在の日付
		System Time	-	-	現在の時刻
(2)	Configuration	PCI/PCIE Configuration	Processor PCI Express Configuration	PEG0	GEN2
				PEG1	GEN2
				PEG2	GEN2
		Power Control Configuration	Restore AC power loss	-	Power On
		CPU Configuration	EIST	-	Disable
		Chipset Configuration	Memory Configuration	Max TOLUD	Dynamic
		SATA Configuration	Hut Plug	-	全ての項目で Disable
		Super IO Configuration	COM2 Configuration	-	RS-422
			Parallel Port Address	-	378/ IRQ7
			Parallel Port Mode	-	Standard
(3)	Boot	Boot Priority Order		1	ATA HDD0
				2	ATA HDD1

2. 設定手順

◆ **初期設定**

① キーボードの←→キーでトップメニューから［Exit］を選択します。

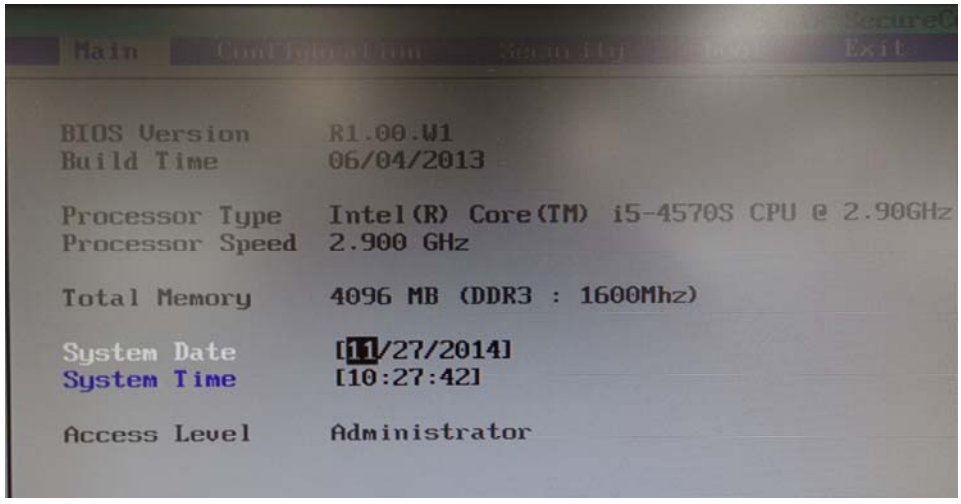
② キーボードの↑↓キーで［Load Setup Defaults］を選択し Enter キーを押します。
初期設定を読み込むかどうか確認メッセージが出ますので、Enter キーを押してください。
初期設定が読み込まれます。



(1) 日付、時刻設定

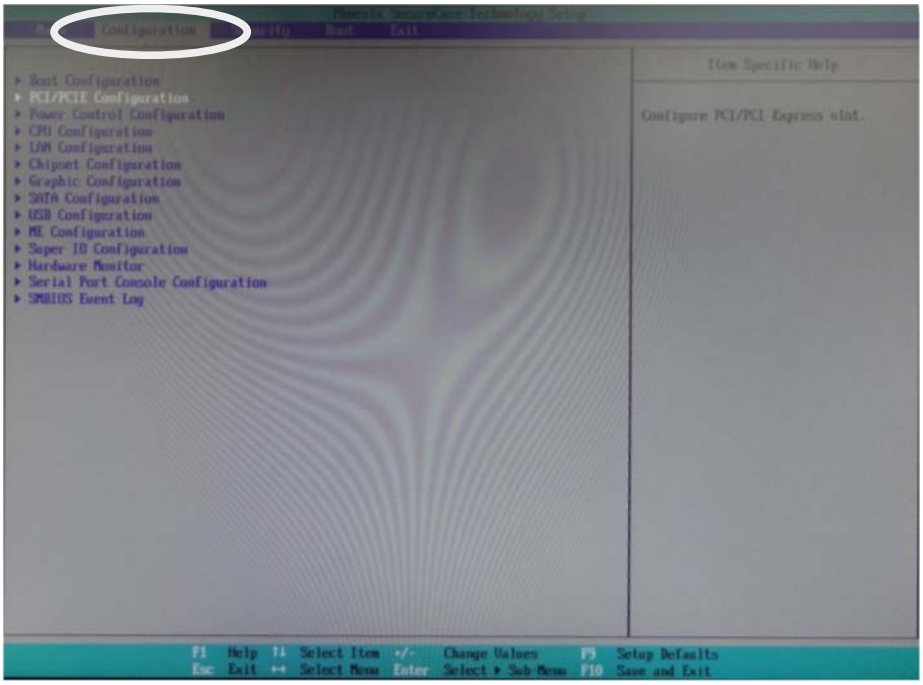
① キーボードの←→キーでトップメニューから［Main］を選択します。

② キーボードの↑↓キーで［System Date］を選択し、数字キーで現在の日付を入力します。Enter キーで確定され、月/日/年にカーソルが切替わります。
同様に、［System Time］で現在の時刻を入力します。



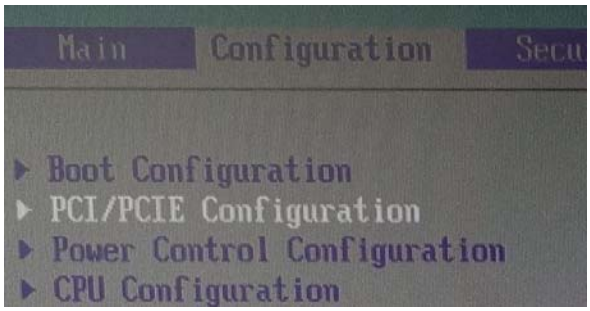
(2) Configuration メニュー設定

キーボードでトップメニューの［Configuration］を選択します。Configuration メニュー画面が表示されます。

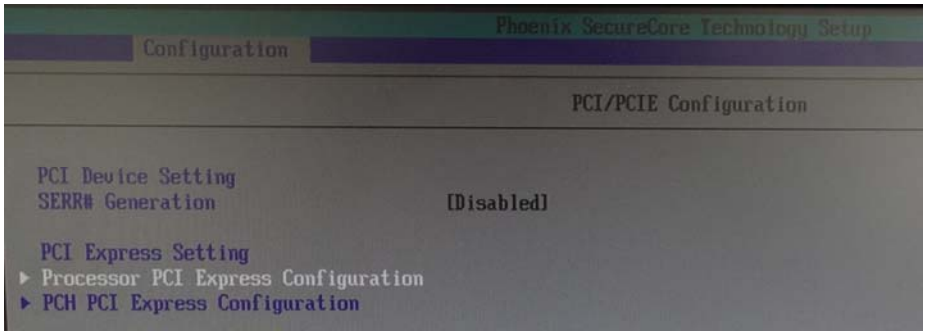


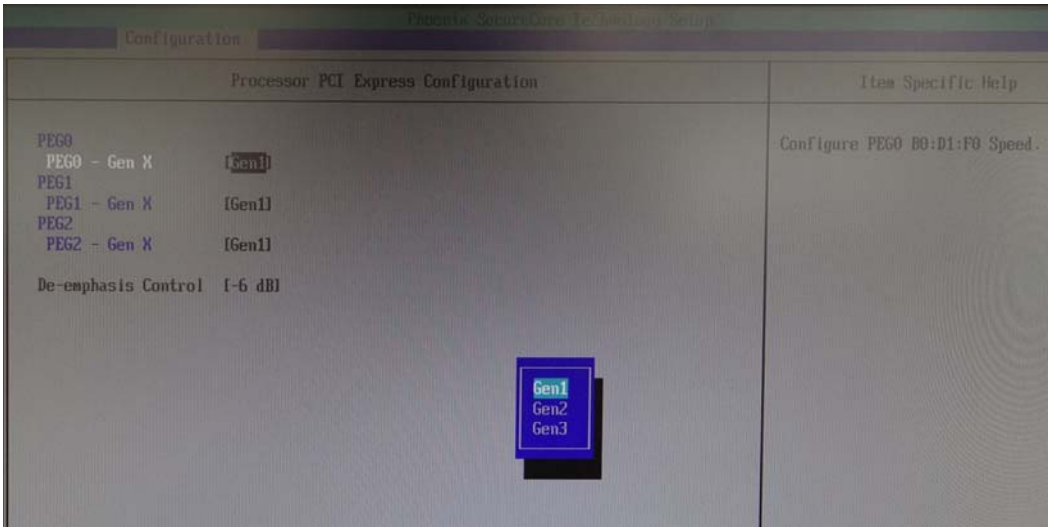
◆ **PCI/PCIE 設定**

① サブメニュー［PCI/PCIE Configuration］を選択し Enter キーを押してメニューを表示します。



② キーボードの↑ ↓キーで［Processor PCI Express Configuration］を選択し、 Enter キーを押すと［Options］メニューが表示されますので、［PEG0］を選択し、Enter キーを押して［GEN2］に設定し Enter キーを押してください。

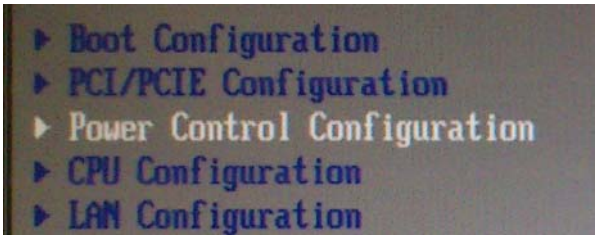




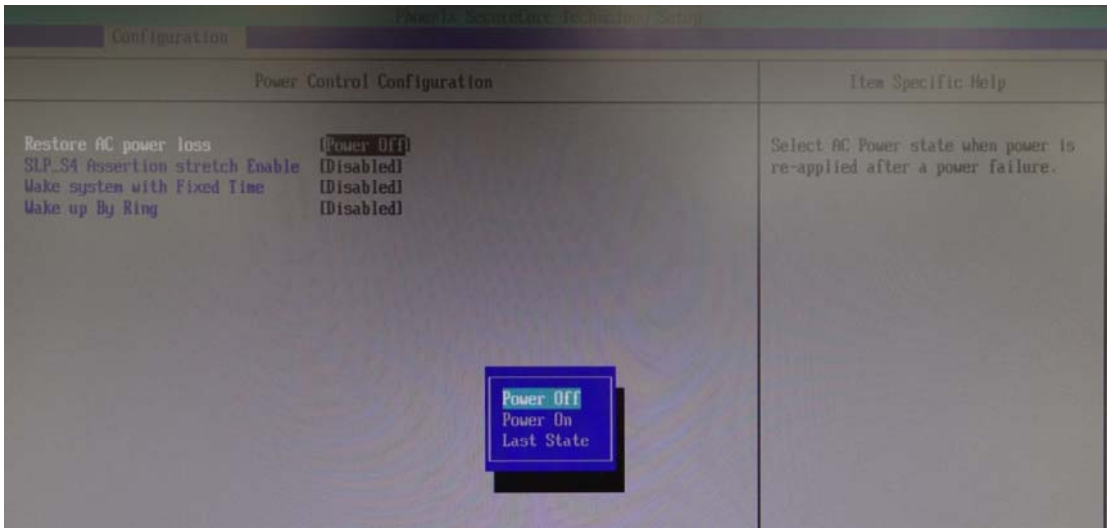
③　［PEG1］、［PEG2］も同様に［GEN2］に設定してください。

◆ **Power Control 設定**

①　キーボードの Esc キーを押して Configuration メニュー画面に戻り、サブメニュー［Power Control Configuration］を選択し、 Enter キーを押します。

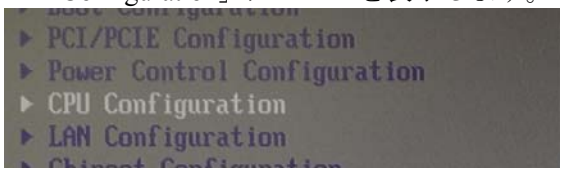


②　［Restore AC power loss］を選択し、Enter キーを押し［Power On］を選択します。Enter キーを押して設定します。


Configuration
Power Control Configuration
Item Specific Help
Restore AC power loss [Power Off]
SLP_S4 Assertion stretch Enable [Disabled]
Wake system with Fixed Time [Disabled]
Wake up By Ring [Disabled]
Select AC Power state when power is re-applied after a power failure.
Power Off
Power On
Last State

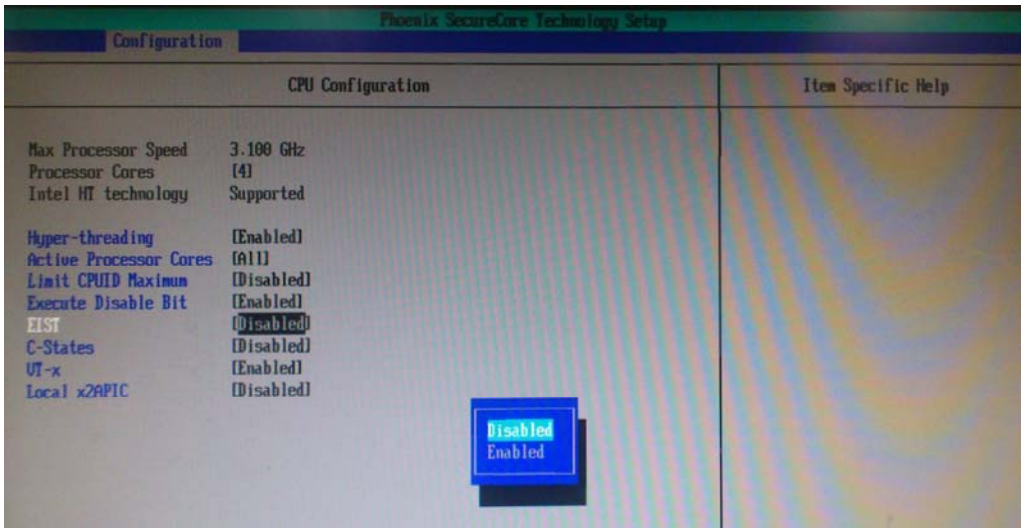
◆ **CPU 設定**

① キーボードの Esc キーを押して Configuration メニュー画面に戻り、［CPU Configuration］メニューを表示します。



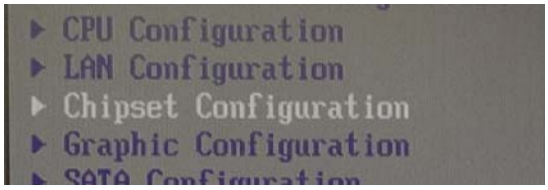
② キーボードの↑↓キーで［EIST］を選択し、 Enter キーを押します。

③ キーボードの↑↓キーで［Disable］を選択し、 Enter キーを押します。

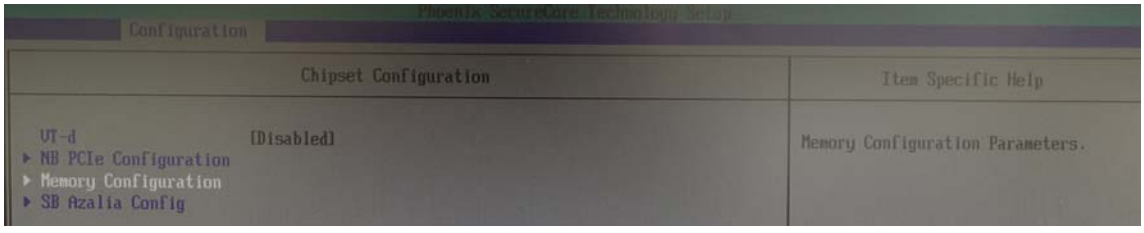


◆ **Chipset 設定**

① キーボードの Esc キーを押して Configuration メニュー画面に戻り、［Chipset Configuration］メニューを表示します。

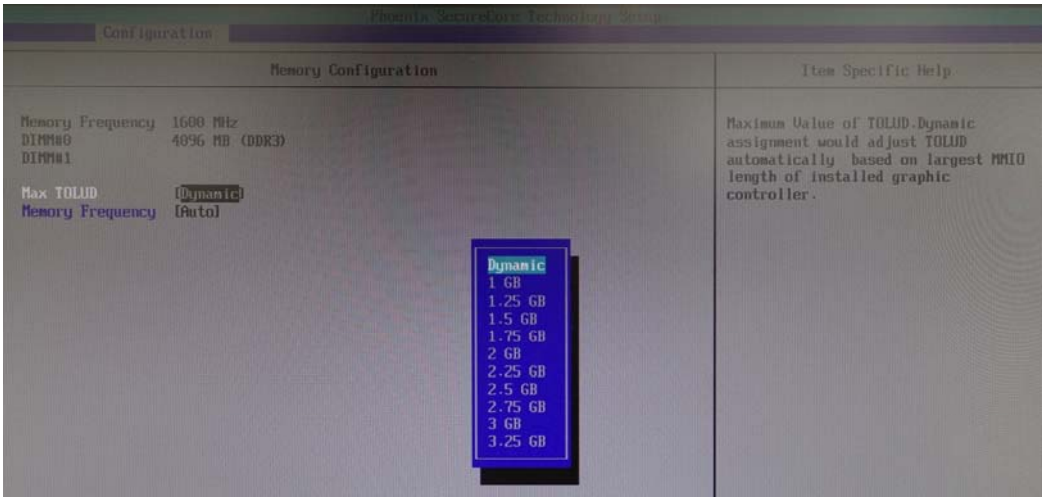


② キーボードの↑↓キーで［Memory Configuration］を選択し、Enter キーを押します。



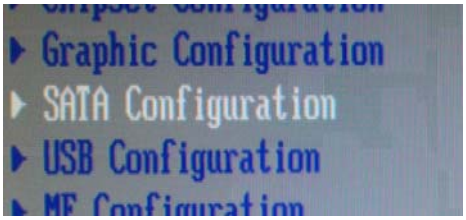
③ キーボードの↑↓キーで［Max TOLUD］を選択し、 Enter キーを押します。

④ ［Dynamic］を選択し Enter キーを押して設定します。

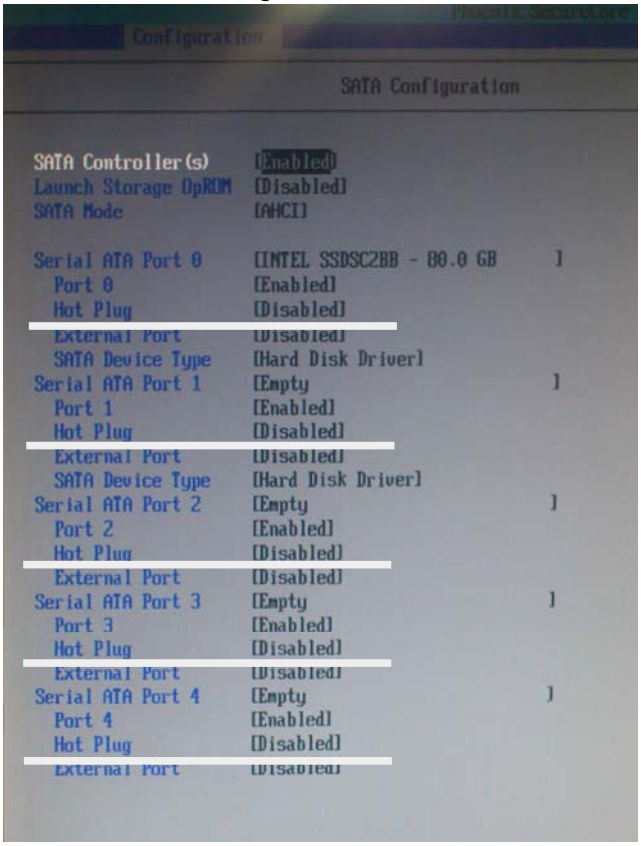


◆ **SATA 設定**

① キーボードの Esc キーを押して Configuration メニュー画面に戻り、［SATA Configuration］メニューを表示します。



② 全ての［Hut Plug］の設定を［Disabled］に設定します。

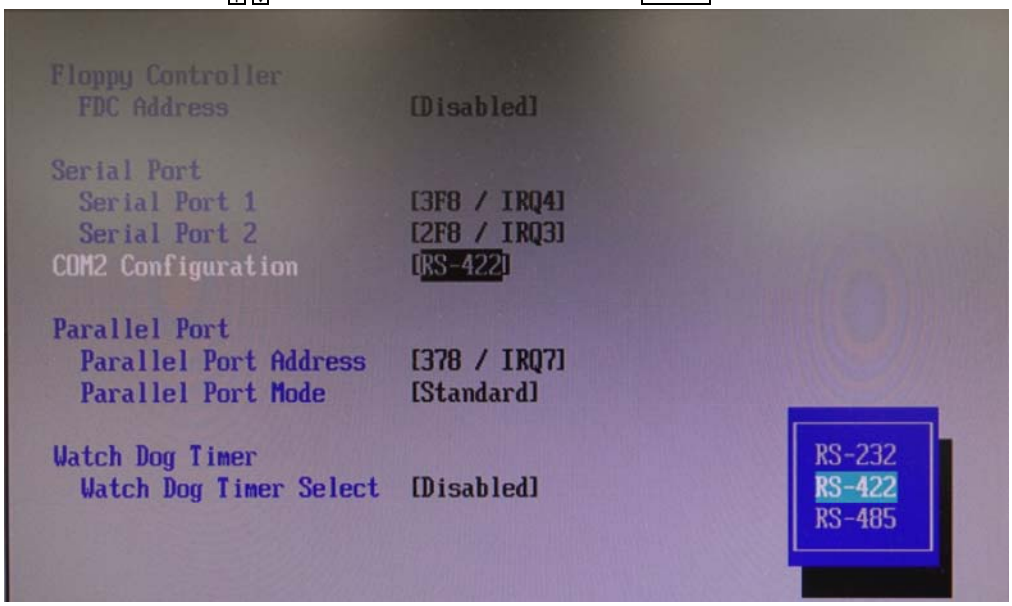

Configuration
SATA Configuration
SATA Controller(s) [Enabled]
Launch Storage OpROM [Disabled]
SATA Mode [AHCI]
Serial ATA Port 0 [INTEL SSDSC2BB - 80.0 GB]
Port 0 [Enabled]
Hot Plug [Disabled]
SATA Device Type [Hard Disk Driver]
Serial ATA Port 1 [Empty]
Port 1 [Enabled]
Hot Plug [Disabled]
External Port [Disabled]
SATA Device Type [Hard Disk Driver]
Serial ATA Port 2 [Empty]
Port 2 [Enabled]
Hot Plug [Disabled]
External Port [Disabled]
Serial ATA Port 3 [Empty]
Port 3 [Enabled]
Hot Plug [Disabled]
Serial ATA Port 4 [Empty]
Port 4 [Enabled]
Hot Plug [Disabled]

◆ **Super IO 設定**

① キーボードの Esc キーを押して Configuration メニュー画面に戻り、［Super IO Configuration］メニューを表示します。

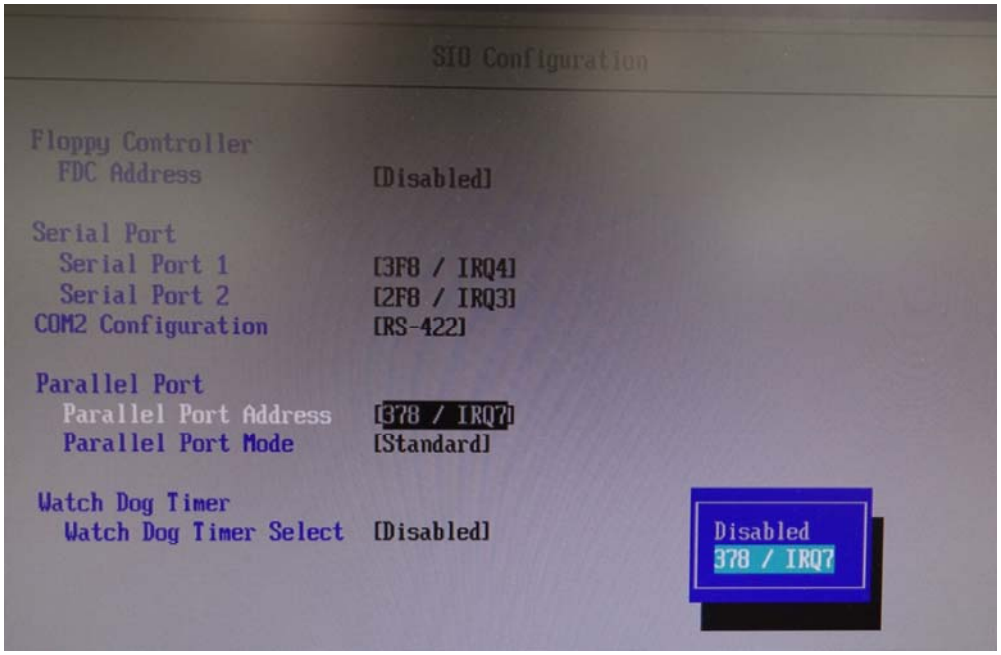
② キーボードの↑↓キーで［COM2 Configuration］を選択し、 Enter キーを押します。

③ キーボードの↑↓キーで［RS-422］を選択し、 Enter キーを押します。

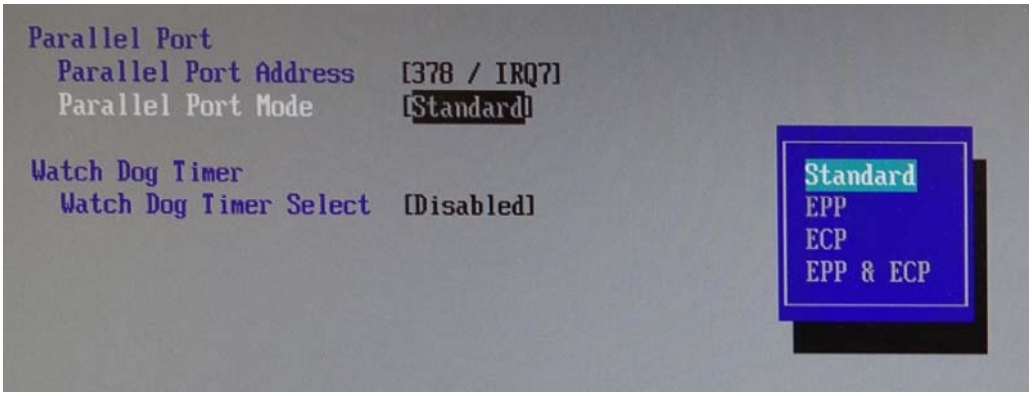


④ キーボードの↑↓キーで［Parallel Port Address］を選択し、 Enter キーを押します。

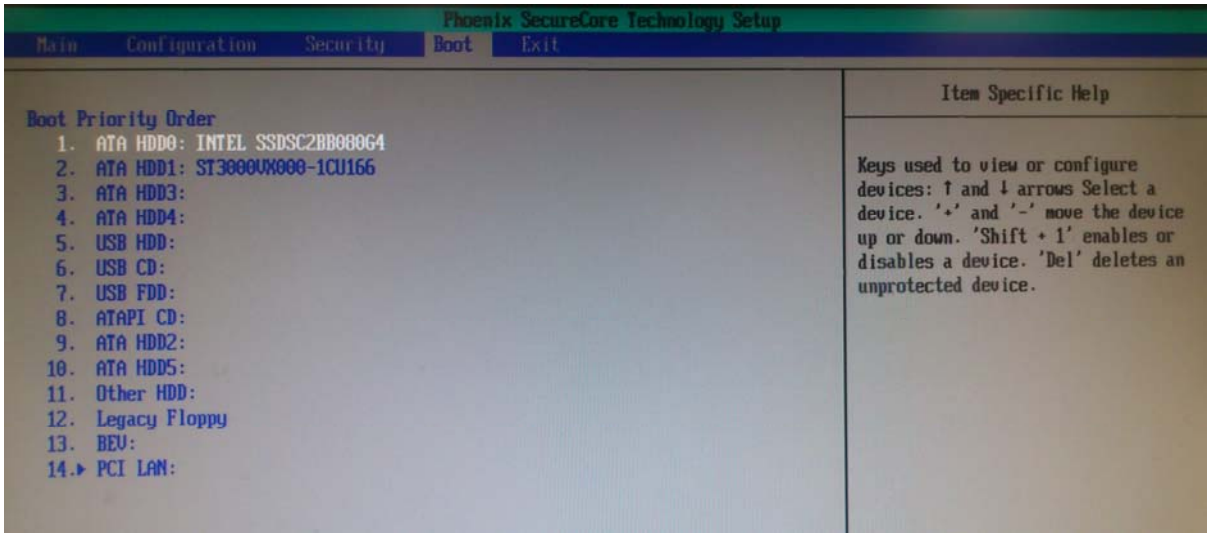
⑤ キーボードの↑↓キーで［378/ IRQ7］を選択し、 Enter キーを押します。



⑥ キーボードの↑↓キーで［Parallel Port Mode］を選択し、Enterキーを押します。
⑦ キーボードの↑↓キーで［Standard］を選択し、Enterキーを押します。



(3) Boot メニュー設定
① キーボードの Esc キーを押して Configuration メニュー画面に戻り、キーボードの←→キーでメインメニュー［Boot］を選択します。
② [Boot Priority Order]の［1］を［ATA HDD0］に設定します。
+−キーで上下に動かして設定してください。
③ [Boot Priority Order]の［2］を［ATA HDD1］に設定します。


Phoenix SecureCore Technology Setup
Main Configuration Security Boot Exit
Boot Priority Order
1. ATA HDD0: INTEL SSDSC2BB080G4
2. ATA HDD1: ST3000VX000-1CU166
3. ATA HDD3:
4. ATA HDD4:
5. USB HDD:
6. USB CD:
7. USB FDD:
8. ATAPI CD:
9. ATA HDD2:
10. ATA HDD5:
11. Other HDD:
12. Legacy Floppy
13. BEV:
14.▸ PCI LAN:
Item Specific Help
Keys used to view or configure devices: ↑ and ↓ arrows Select a device. '+' and '-' move the device up or down. 'Shift + 1' enables or disables a device. 'Del' deletes an unprotected device.

④ 設定が終了したら、F10キーを押してください。設定を保存して終了するか確認メッセージが表示されますので、［Yes］を選択して Enter キーを押してください。再度 BIOS から起動が始まります。

以上で設定完了です。

07/14/2015 Printed in Japan

サービスに関するお問い合わせは

FOR.A®
INNOVATIONS IN VIDEO and AUDIO TECHNOLOGY

24h
365 days
サービスセンター
03-3446-8575

株式会社朋栄

本　　社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿 3-8-1	Tel:03-3446-3121（代）
関西支店	〒530-0055	大阪市北区野崎町 9-8 永楽ニッセイビル 8F	Tel:06-6366-8288（代）
札幌営業所	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2011（代）
東北営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央 2-10-30 仙台明芳ビル	Tel:022-268-6181（代）
中部・北陸営業所	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル	Tel:052-232-2691（代）
中国営業所	〒730-0012	広島市中区上八丁掘 5-2 KM ビル	Tel:082-224-0591（代）
九州営業所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 2-4-8 福岡小学館ビル	Tel:092-731-0591（代）
沖縄営業所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル	Tel:098-860-4178（代）
佐倉研究開発センター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作 2-3-3	Tel:043-498-1230（代）
札幌研究開発センター	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2018（代）

その他のお問い合わせは、最寄りの営業所にご連絡ください。